

日本科学未来館とは

日本科学未来館は、いま世界に起きていることを科学の視点から理解し、私たちがこれからどんな未来をつかっていくかをともに考え、語り合う場です。

展示をはじめ、トークセッション、ワークショップなど多彩なメニューを通し、日々の素朴な疑問から最新テクノロジー、地球環境、宇宙の探求まで、さまざまなスケールで現在進行形の科学技術を体験することができます。

名称	<small>にっぽん かがく みらいかん</small> 日本科学未来館（略称：未来館） Miraikan - The National Museum of Emerging Science and Innovation
館長	毛利 衛
運営	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
開館	2001年7月
所在地	〒135-0064 東京都江東区青海2丁目3番6号
URL	https://www.miraikan.jst.go.jp/

■設立の理念

科学技術を文化として捉え、社会に対する役割と未来の可能性について考え、語り合うための、すべての人々にひらかれた場。

■シンボルマーク



デザイン：廣村正彰

「Miraikan」という愛称についている青いシンボルマークは、正円と、正円を駆けめぐる円弧とで構成されています。「地球と衛星軌道」、「細胞分裂」、「地球上のさまざまなネットワーク（人と人、情報）」、「電子の動き」などをイメージさせるものです。

■スローガン

「科学がわかる、世界がかわる」

“Science Changes People ; People Change Worlds”

科学が
わかる 世界が
かわる

「科学がわかる」とは、単に科学を理解することだけを意味しません。先端の科学技術をはじめとした様々な「新しい知」に触れることで、新しいものの見方と出会う。それも「科学がわかる」ことの一つです。「世界がかわる」とは、それによって世界が違って見えてくること、さらには、一人ひとりがその未来を考え語り合い、行動につなげ、世界をよりよい方向に進めていく力となることを指しています。

沿革

日本科学未来館は、科学技術創造立国のための「科学技術基本計画」に基づき、科学技術への理解を深めるための拠点として国際研究交流大学村内に建設され、2001年に開館した国立の科学館です。

1995年 11月	科学技術基本法が成立 科学技術の振興を進めることによって科学技術創造立国を目指すことを目的とした科学技術基本法が成立
1996年 7月	科学技術基本計画が策定 科学技術基本法の成立を受けて総合的・計画的な施策を推進するための科学技術基本計画が制定
1998年 12月	「国際研究交流大学村」の建設が決定 文部省、通商産業省、科学技術庁の三省庁 ⁽¹⁾ が合同で、臨海副都心地区に「国際研究交流大学村」を建設することが決定 科学技術庁傘下の科学技術振興事業団 ⁽²⁾ が、この大学村内に最先端の科学技術の展示、展示手法の開発、研究者の交流などを通じて科学技術の情報を発信していく施設を整備することになる <small>*1 2001年1月、省庁再編成により文部科学省、経済産業省の二省となる。 *2 2015年4月より国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)となる。</small>
1999年 12月	着工
2000年 3月	総合監修委員会を設置 日本科学未来館のあり方などについての審議を行うため、JSTに総合監修委員会を設置し、展示計画、活動方針などについて具体的な検討を2000年12月まで重ね、それをもとに館の整備が進められた
	9月 施設の名称を「日本科学未来館」に決定
	10月 毛利衛が館長に就任
2001年 3月	建物が完成
	シンボルマーク決定
	7月9日 日本科学未来館が開館
2004年 7月	名誉館員制度の創設
2010年 10月	日本科学未来館の運営体制の見直し 2009年11月に開催された行政刷新会議「事業仕分け」の結果を受け、予算を縮減しつつ、JSTによる運営業務直執行体制となる 国際総合監修委員会の設置、「Miraikanメッセージ」を発信
2016年4月	常設展の大幅なリニューアル
2017年11月	世界科学館サミット(SCWS)2017の開催

日本科学未来館のとりくみ

先端科学技術と人とをつなぐための拠点として、主に3つのことにとりくんでいます。

1. 科学を伝える——先端科学技術と社会を結ぶ場の創造

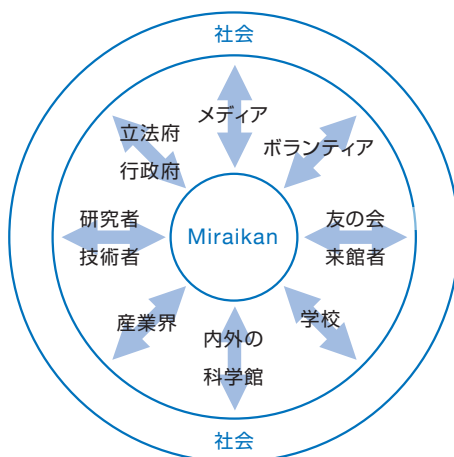
展示、映像、トークイベント、実験教室、オンラインメディアなど多彩な方法で科学技術への興味を喚起しながら、科学技術が未来の社会に何をもたらすのかについて、さまざまな人々の対話を醸成していきます。

2. 人材を育てる——科学コミュニケーターの育成

未来館で行っている「科学を伝える」活動の実践を通して、科学者・技術者と一般市民との橋渡しをする科学コミュニケーターを館の内外に育成しています。

3. つながりをつくる——ネットワークの形成による活動の展開

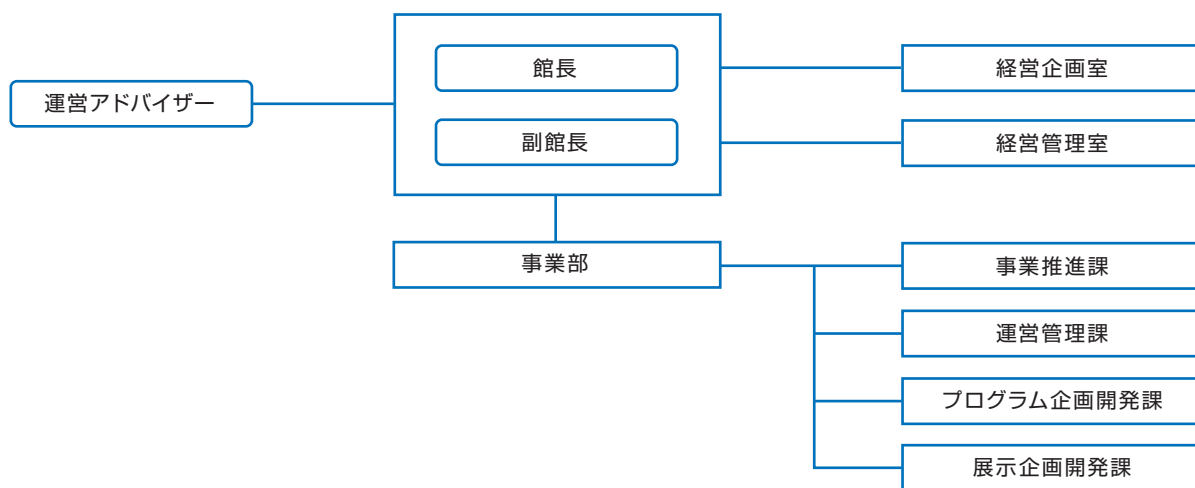
研究者・技術者、メディア、ボランティア、友の会・来館者、立法府・行政府、学校、内外の科学館、産業界など、社会のさまざまなステークホルダーを、ともに活動するパートナーとして捉え、ネットワークを築いています。



組織

■日本科学未来館 役員

館長	毛利	衛
副館長	田中	正朗
副館長	中西	忍
運営アドバイザー	榊	裕之



2020年4月1日現在

日本科学未来館の事業評価について

未来館の運営や各種活動に関する目標と年度計画は、科学技術振興機構の中期計画に基づいて策定しています。年度計画の達成状況は、「日本科学未来館運営評価委員会」が評価をし、同時に改善提案を審議します。その改善提案は、未来館の事業運営に反映させます。また、評価結果は「日本科学未来館総合監修委員会」にも報告します。総合監修委員会では、今後の展示や科学コミュニケーション活動の計画、運営方針などについて審議・監修が行われます。どちらの委員会も以下に示すように外部の有識者で構成されています。

運営評価委員会

未来館が作成する年度計画の達成状況の評価し、その評価結果に基づいて事業運営の改善提案を審議します。

委員長

小林傳司／大阪大学 COデザインセンター 教授

委員（順不同、敬称略）

江守正多／国立環境研究所 地球環境研究センター 副研究センター長

岸 利治／東京大学 生産技術研究所 所長

久保野永靖／株式会社 J-WAVE コンテンツマーケティング局 専任局長

エグゼクティブプロデューサー

梁川香澄／ハンズ・オン プランニング 代表

本吉洋一／国立極地研究所 教授

森 俊哉／有限責任あずさ監査法人 専務理事

森 美樹／株式会社日本国際放送 コンテンツセンター(企画事業)

アジア等地域展開 統括部長

総合監修委員会

未来館のあり方や活動方針、展示計画、施設整備や運営の基本計画などについて審議・監修を行います。

委員長

神 裕之／豊田工業大学 常務理事

委員（順不同、敬称略）

海野 正／日本公認会計士協会 専務理事

佐々木かをり／株式会社イー・ウーマン 代表取締役社長

柴崎敦子／株式会社フジテレビジョン 執行役員 番組審議室長

高柳雄一／多摩六都科学館 館長

中村桂子／JT生命誌研究館 館長

早川 茂／トヨタ自動車株式会社 代表取締役副会長

林 良博／独立行政法人国立科学博物館 館長

村井 純／慶応義塾大学 環境情報学部 教授

室伏きみ子／お茶の水女子大学 学長

国際総合監修委員会 (International Advisory Board)

国際総合監修委員会 (IAB) は、未来館の総合的な評価および今後の活動の方向性について国際的な視野から評価し、的確な事業展開を図るため、2010年6月に設置された委員会です。本委員会は、世界各国の科学技術分野・科学館分野の第一人者によって構成されており、地球人類の持続的発展を目指す科学技術のあり方と科学館の役割を議論し、未来館が果たす役割・方向性についてアドバイスをもらえる場です。

2020年3月31日現在

国際総合監修委員会「Miraikanメッセージ」

日本科学未来館は、世界各国の科学技術分野・科学館分野の第一人者を委員とした国際総合監修委員会（IAB）を2010年10月に開催し、国際的サイエンスコミュニケーション推進に関わる「Miraikanメッセージ」を世界にむけて発信しました。

「Miraikanメッセージ」は、国際総合監修委員会での議論をもとに、人類が直面する地球規模課題の解決のために、科学館が果たす役割についての提案です。

■Miraikanメッセージ

1. 地球規模の課題には人類のあらゆる知恵を総動員する対策が必要です

地球温暖化や生物多様性といった地球規模の課題は、人類存続に脅威を与える問題であり、同時に、私たち一人ひとりの毎日の生活に衝撃を与える個人の存続の問題でもあります。賢者は「あなたが見たいと思う世界の変化にあなた自身が必要なりなさい」と言っています。それゆえ、私たち一人ひとりには、この地球規模の課題の解決のために取り組む役割があります。

人類はこれまで社会的集団として持続的に生き延び、より豊かな暮らしを得るために育み伝承してきた知恵を持っています。これらの地球規模の課題を改善し、対策を実行するためには、人間のあらゆる知恵を総動員することが必要です。

2. 文化としての科学技術

文化とは、人類がこれまで育み伝承してきた知恵の総体を意味します。すなわち、政治、経済、宗教、倫理、芸術・スポーツ、そして科学技術などすべての人間活動が含まれます。

私たちは、科学技術を文化として捉え、私たちの社会に対する役割と未来の可能性について、考え、語り合う場をつくり出します。

3. 日本科学未来館はグローバルな活動を発展させます

地球規模の課題解決には国際協力が必要です。しかし、各国が自国の利益に重きを置けば、解決策を見つけることは困難となるでしょう。重要なことは、すべてのために持続可能な地球環境を確かなものにするグローバルな視点を持つことです。そのためには、世界が受け入れられる科学的なものの方が必要となります。それこそが、人類の文化の一翼を担う科学技術であり、人類共通の価値を共有して公益に役立ちます。

日本科学未来館は、科学技術を身近な文化にする活動に取り組んできました。そして、その活動を地域、全国、そして世界に広げようとしています。私たち国際総合監修委員会（IAB）は、われわれの惑星・地球を守るために、世界的な協力と協調を通して、この活動を推進することを支持します。

■委員（順不同、所属・役職は当時、敬称略）

ブルース・M・アルバーツ／アメリカ Science (AAAS)誌 編集長

ゴリー・デラコート／イギリス アット・ブリストル科学館 館長

クローディ・エニユレ／フランス Universcience: 科学産業都市(科学都市博物館)および発見の殿堂(科学博物館) 館長

スバント・リンドキスト／スウェーデン 王立科学アカデミー 会長

ラジェンドラ・K・パチャウリ／インド 気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 議長

李祥義／韓国 国立果川科学館 館長

徐延豪／中国 国立中国科学技術館 館長

安西祐一郎／日本 慶應義塾 学事顧問・慶應義塾大学理工学部 教授

金澤一郎／日本 日本学術会議 会長

豊田 皓／日本 株式会社フジテレビジョン 代表取締役社長

中村桂子／日本 JT生命誌研究館 館長

吉川弘之／日本 独立行政法人科学技術振興機構(JST) 研究開発戦略センター長

日本科学未来館 名誉館員

名誉館員制度は、開館3周年を記念して2004年7月に創設されました。この制度は、科学技術に特に顕著な貢献によりノーベル賞など国際的に認められる賞を受賞され、未来館への理解と協力をいただいた研究者を顕彰し、未来館として敬意の念を表すものです。

■名誉館員（順不同、敬称略）

ハロルド・クロトー／1996年 ノーベル化学賞
野依良治／2001年 ノーベル化学賞
ティモシー・ハント／2001年 ノーベル生理学・医学賞
小柴昌俊／2002年 ノーベル物理学賞
田中耕一／2002年 ノーベル化学賞
アレクセイ・アブリコソフ／2003年 ノーベル物理学賞
江崎玲於奈／1973年 ノーベル物理学賞
ラジェンドラ・パチャウリ／2007年 ノーベル平和賞 ※議長を務めていたIPCCが団体として受賞
ペーター・グリュンベルク／2007年 ノーベル物理学賞
ルドルフ・マーカス／1992年 ノーベル化学賞
小林誠／2008年 ノーベル物理学賞
益川敏英／2008年 ノーベル物理学賞
鈴木章／2010年 ノーベル化学賞
山中伸弥／2012年 ノーベル生理学・医学賞
根岸英一／2010年 ノーベル化学賞
バラク・オバマ／2009年 ノーベル平和賞
ブライアン・シュミット／2011年 ノーベル物理学賞
ダニエル・シェヒトマン／2011年 ノーベル化学賞
白川英樹／2000年 ノーベル化学賞
赤崎勇／2014年 ノーベル物理学賞
ジョン・ガードン／2012年 ノーベル生理学・医学賞
梶田隆章／2015年 ノーベル物理学賞
大村智／2015年 ノーベル生理学・医学賞
ムハマド・ユヌス／2006年 ノーベル平和賞
吉野彰／2019年 ノーベル化学賞

2020年4月現在

常設展示監修者

■ 展示監修者一覧 (順不同、敬称略)

● 世界をさぐる

■ ニュートリノから探る宇宙

梶田 隆章

■ 加速器で探る素粒子と宇宙

山内 正則

■ とともに進める医療

高坂 新一

笹月 健彦

■ こちら、国際宇宙ステーション

毛利 衛

■ 地球環境とわたし

船岡 正光 常松 俊秀

飯田 哲也 藤野 純一

工藤 昭彦 松本謙一郎

田口 精一 本島 修

田近 英一 安井 至

谷口 正次

■ ぼくとみんなとそしてきみー未来をつくりだすちから

松沢 哲郎

廣中 直行

■ 細胞たち研究開発中

浅島 誠

山中 伸弥

京都大学 iPS細胞研究所[CiRA]

岡野 栄之

斎藤 通紀

櫻井 英俊

中内 啓光

中川 誠人

山田 重人

■ 100億人でサバイバル

毛利 衛

押谷 仁

岸本 充生

田近 英一

● 未来をつくる

■ インターネット物理モデル

村井 純

佐藤 雅明

■ ロボットとくらし

本田技研工業株式会社

柴田 崇徳

■ アナグラのうたー消えた博士と残された装置

柴崎 亮介 堀口 良太

小林 功 前中 一介

中島 直樹

■ アンドロイドー人間って、なんだ？

石黒 浩

■ 未来逆算思考

大垣眞一郎 広井 良典

勝川 俊雄 松橋 隆治

木部 暢子 宮廻 正明

花木 啓祐 山本 雄士

■ ビジヨナリーラボ ビジヨナリーキャンプ

渡邊 淳司(Step2)

■ 計算機と自然、計算機の自然

落合 陽一

伊藤 亜紗

加藤 真平

後藤 真孝

杉山 将

登 大遊

■ 零舌庵 GANGU

伊東 順二

● 地球とつながる

■ 未来の地層

佐倉 統

本吉 洋一

● 実験工房

伊佐 正 野村 泰朗

金井 徳兼 松尾 豊

白川 英樹 横林 しほり

● “おや？”っこひろば

塩瀬 隆之

西田 佳史

倉田 新

● ドームシアター

■ 『9次元からきた男』

大栗 博司

■ 『パースデイ~宇宙とわたしをつなぐもの~』

谷口 義明

2020年4月現在

施設一覽

展示施設

			床面積
シンボルゾーン	1階	シンボル展示が頭上に浮かぶ、6階まで吹き抜けの開放的な空間	600㎡
常設展示ゾーン	3, 5階	3階「未来をつくる」、5階「世界をさぐる」という2つのテーマからなる常設展示スペース	3階: 2874㎡ 5階: 2213㎡
ドームシアター	6-7階	全天周映像とプラネタリウムが楽しめる半球状のシアター	234㎡
企画展示ゾーン a, b	1階	大型イベントや企画展の開催が可能な空間。2分割での使用も可能	1,510㎡ [a: 720㎡, b: 790㎡]
“おや？”っこひろば	3階	親子で科学的な「モノの見方」を体験できる無料スペース	600㎡
コミュニケーションロビー	1階	映像が流れる多目的スペース。日によってイベントも開催します	300㎡






貸出施設

未来館ホール	7階	292人収容可能な、シンポジウムなどの利用に最適なスペース	400㎡
コンファレンスルーム	7階	スクール形式からシアター形式へフレキシブルに対応可能な会議室や、パレットタウンの観覧者が見える木星ルーム、前面ガラス張りの東京湾を見渡せる海王星ルームなどがあります。	木星: 180㎡ 天王星: 110㎡ 土星: 160㎡ 水星: 55㎡ 火星: 60㎡ 金星: 80㎡ 海王星: 105㎡
イノベーションホール	7階	引き出し式の収納席と240インチのスクリーンがある、103人まで収容可能なスペース	195㎡
控室 月 フォボス ダイモス イオ エウロパ ガニメデ タイタン トリトン	7階	ホールやコンファレンスルーム等の利用時の控室にご利用いただけます	

その他施設

多目的ルーム a,b	1階	分割利用でき、多目的に使用できるスペース	[a:64㎡, b:64㎡]
展望ラウンジ/キッチン	7階	お台場周辺から東京タワーまで見渡せる休憩スペース。セルフ形式のレストランも併設。	480㎡
カフェ	5階	軽食を楽しめるカフェ	
ミュージアムショップ	1階	科学グッズや未来館オリジナルグッズを販売	

常設展「世界をさぐる」(5階) 展示名称

コーナー	展示	展示チャプター
 宇宙	加速器で探る素粒子と宇宙	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくらはみんな粒である ・粒子加速器～KEKB加速器とBelle検出器 ・見えてきた素粒子の世界
	ニュートリノから探る宇宙	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーカミオカンデ(1/10模型) ・光電子増倍管 ・霧箱
	こちら、国際宇宙ステーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ISSで生きるには?(宇宙居住棟)
 地球	100億人でサバイバル	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン1: 100億人の命 ・ゾーン2: あなたの命がおかれている状況 ・ゾーン3: あなたの命を守るには
	地球環境とわたし	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の今をみる ・本質をとらえる ・未来を描く ・社会の中で語り合う
 ラボ	フロンティアラボ	<ul style="list-style-type: none"> ・深宇宙に挑む <ul style="list-style-type: none"> -すばる望遠鏡 -アルマ望遠鏡 ・地球の深部に挑む <ul style="list-style-type: none"> -地球深部探査船「ちきゅう」 -有人潜水調査船「しんかい6500」 -キューバのK-T境界層 -深海生物 ・太陽系に挑む <ul style="list-style-type: none"> -金星探査機「あかつき」 -LE-7Aロケットエンジン
 生命	細胞たち研究開発中	<ul style="list-style-type: none"> ・5つのiPSストーリー ・くらべる幹細胞 ・あなたと細胞のストーリー ・多様な生物のなかのヒト
	ぼくとみんなとそしてきみ —未来をつくりだすちから	<ul style="list-style-type: none"> ・1巻 ひとり -自分をうみだす脳- ・2巻 ふたりで -他者をとりこむ性質- ・3巻 みんなと -社会の中で生きる- ・4巻 きみとの未来 -未来をつくりだすちから-
	ともに進める医療	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい目でみる ・分子レベルのデータで見る ・体の仕組みをもとに治す ・患者に優しい技術で治す ・ミライアイテム ・治すからふせぐへ
 アクティビティ	オピニオン・バンク	
	コ・スタジオ	
	セカイゲート	

常設展「世界をさぐる」(5階)

私たちはなぜ今、ここに存在しているのでしょうか？ 宇宙や太陽系、地球環境、そしてそのなかで育まれる生命など、私たちをとりまく“世界”のしくみを、さまざまなスケールでさぐるゾーンです。138億年にわたる宇宙の歴史のなかで、人間はどのように生まれ、周囲の世界とどのように関係し合いながら生きているのでしょうか。これらを科学の目で見て感じることで、私たちが未来に進むべき道を大きな視野で考えます。



こちら、国際宇宙ステーション



ニュートリノから探る宇宙



100億人でサバイバル



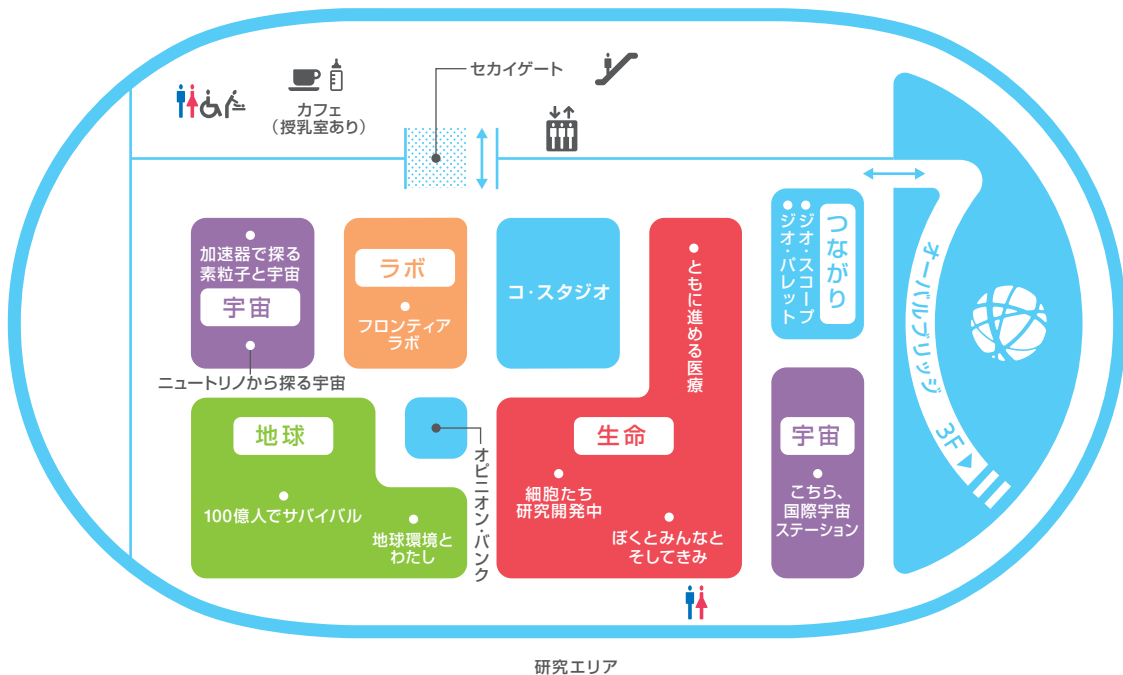
フロンティアラボ



ぼくとみんなとそしてきみ









細胞たち研究開発中



研究エリア

5階 展示ゾーン: 床面積合計2,213.34㎡

常設展「未来をつくる」(3階) 展示名称

コーナー	展示	展示チャプター
 イノベーション	計算機と自然、計算機の自然	<ul style="list-style-type: none"> ・世界観エリア <ul style="list-style-type: none"> - 導入展示 - 計算機と自然、計算機の自然 ・理解エリア <ul style="list-style-type: none"> - 解像度の心得 - 「経験」と「法則」を繰り返す人類の物語 - 先人たちの計算浮世話
	未来逆算思考	<ul style="list-style-type: none"> ・第1ステージ 50年後に贈りたい8つの理想の地球 ・第2ステージ 地球送り装置と時の流れ ・第3ステージ 子孫からの手紙と研究者からのメッセージ
 ロボット	ロボットとくらし	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマノイドロボット「ASIMO(アシモ)」 ・UNI-CUB β(ユニカブ ベータ) ・セラピー用ロボット「パロ」
	アンドロイド — 人間って、なんだ?	<ul style="list-style-type: none"> ・オトナロイド® ・オルタ
 情報	インターネット物理モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル ・ネットワーク
	アナグラのうた —消えた博士と残された装置	<ul style="list-style-type: none"> ・残された装置 <ul style="list-style-type: none"> - 空間情報基盤の構築<ナガメ> - 移動情報の計測<イド> - 生体情報の計測<キトイキ> - 個人情報の保護<ワカラヌ> - 情報の共有と活用<シアワセ> ・博士の机 ・選択機
 ラボ	ノーベルQ —ノーベル賞受賞者たちからの問い	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーベル賞受賞者たちからの問い
	ビジヨナリーラボ	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期展示 ビジヨナリーキャンプ <ul style="list-style-type: none"> - Step1. 2030年をさぐる - Step2. コミュニケーションをさぐる - Step3. ビジョンをさぐる - エピローグ ビジヨナリーキャンプをあとにする前に…
 アート	零壹庵	GANGU(企画・制作: AI + PARTY)
 アクティビティ	ミライゲート	

常設展「未来をつくる」(3階)

これから先、私たちはどんな方法で豊かさを築いていけばいいのでしょうか？私たちが望む社会や暮らしのかたちを描きだし、その夢がどんなアイデアによって実現されるかを考えるゾーンです。70億人を超える地球上で持続可能な社会をつくるためには、どんな科学技術を、どのように使うことが必要なのでしょうか。未来の社会を予見させる空間で、私たちが豊かに生きるための知を探ります。



ノーベルQ
—ノーベル賞受賞者たちからの問い



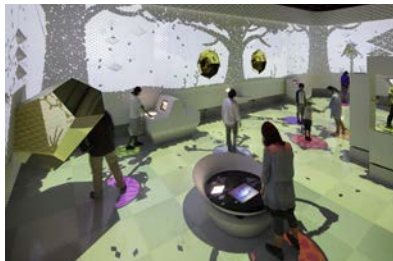
未来逆算思考



アンドロイド — 人間って、なんだ？



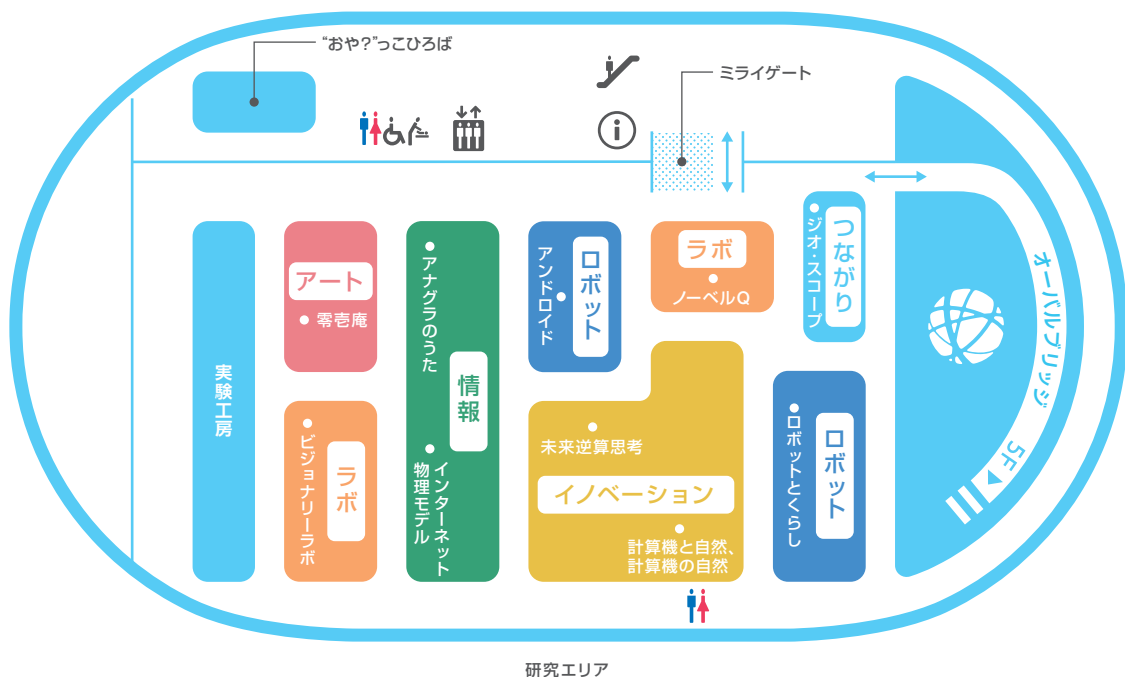
インターネット物理モデル



アナグラのうた



ビジョナリーラボ



3階 展示ゾーン: 床面積合計2,874.80㎡

常設展「地球とつながる」(1、3、5階)

私たちは地球について、どれほどのことを知っているのでしょうか？最先端の技術とデータを使って、地球上のあらゆる生命と環境と自分との‘つながり’を感じ、理解するのがこのゾーンです。シンボル展示のジオ・コスモスや、ジオ・スコープ、ジオ・プリズム、ジオ・パレットで地球に関する多様な科学情報を見ることができます。

地球の生態系のなかのさまざまな生命の‘つながり’や、地球46億年の歴史とともにはぐくまれてきた私たち人間と地球との‘つながり’など、地球規模の大きなつながりのなかに人間の存在や自分自身を位置づけてみましょう。未来館の常設展示すべてを包括するゾーンです。

■シンボル展示 ジオ・コスモス

1000万画素を超える高解像度で、宇宙に輝く地球の姿をリアルに映し出す日本科学未来館のシンボル展示。有機ELパネルを使った世界初の地球ディスプレイです。「宇宙から見た輝く地球の姿を多くの人と共有したい」という館長毛利衛の思いから生まれました。

- ・主要スペック
- サイズ:直径約6m(地球の約200万分の1)
- 重さ:約13t
- 内部構造:ジオデシック正八面体モデル
- 画素数:1000万画素以上
- 発光デバイス:有機EL(96mm角パネル10,362枚)

コンテンツ例

- ・未来の地層 Digging the Future



■ジオ・スコープ

国内外の科学者や研究機関から集めたさまざまな地球観測データへ自由にアクセスできる、インタラクティブボード。大・小サイズのボード計13台が展示フロアに並びます。タッチパネルによる簡単な操作で、地球スケールの情報を思いのままに探ることができます。



■ジオ・プリズム

AR(拡張現実感)技術を用いて、ジオ・コスモスにデータやシミュレーションを重ねて表示できるシステムです。CGと複数のカメラからの映像をダイナミックに織り混ぜたデータが、地球上に可視化されます。シンボルゾーンとオーバルブリッジに設置されたタッチスクリーン端末を使って、360度方向から鑑賞することができます。



■ジオ・パレット

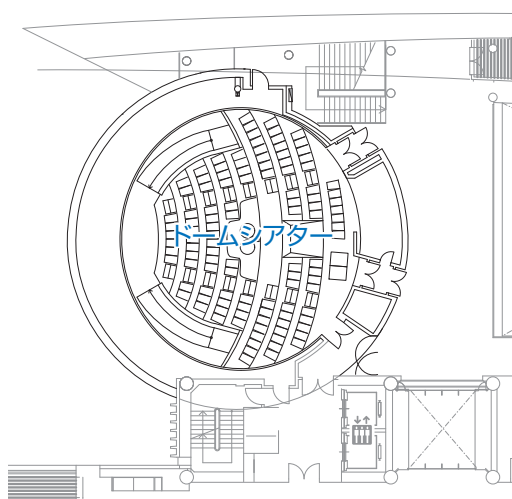
世界の国々や地域に関する多様な情報をもとに、オリジナルの世界地図を描くことができるオンラインサービス。数百種類のデータを自由に選択し、異なるデータを一枚の地図上に重ね合わせて見ることで、地球環境や人間活動の様相をさまざまな観点から再発見することができます。



ドームシアター

6階にあるドームシアターは、半球状の映像シアターです。

全周を覆う広いスクリーンを活かした迫力の大画面映像や、日本初の全天周・超高精細3D映像を使用した立体視プラネタリウム作品など、さまざまな映像プログラムを上映しています。



ドーム直径：15.24メートル
ドーム傾斜角：23.5度
席数：121席（全席リクライニング）
音響：7.1チャンネルサラウンドシステム



外観



内観

■ 上映作品 [2020年4月現在]

『9次元からきた男』



©Miraikan

『バースデイ ～宇宙とわたしをつなぐもの～』



©4D2U Project, NAOJ

■ 映像システム

・映像システム 1: 全天周・超高精細立体視映像システム

高精細な映像を高輝度RGBレーザー4Kプロジェクター2台で投影することで、空気感や気配までも感じられるような、明るく鮮やかな映像をドーム型スクリーンに映し出します。アクティブシャッター方式の3Dシステムによる、自然で迫力のある全天周立体視映像を楽しめます。

・映像システム 2: プラネタリウム投影機 “MEGASTAR-II cosmos”

約1,000万個の恒星を投影します。リアルで繊細な星空を活かして、立体視映像システムと連動したプログラムを上映しています。

■ 観覧方法

ドームシアターは別料金です。
(大人 310円、18歳以下 100円)
※Webで事前に予約ができます。

研究エリア

日本科学未来館には研究エリアが併設されています。3階から5階までの展示ゾーンの廊下を隔てた奥では、複数の研究プロジェクトが常駐し、日々研究活動を行っています。先端科学技術の研究現場を広く公開するという目的から、各研究室の壁はガラス張りになっており、廊下から研究者の活動の様子が見えるようになっています。

現在行われている研究プロジェクト	研究代表者(所属)
●対話知能学プロジェクト 人間と知能ロボットや情報メディアが共生する社会を実現するための新たな研究課題である、対話継続関係維持、対話理解生成、行動決定モデル推定、人間機械社会規範からなる新たな学問分野を創成します。	石黒 浩 (大阪大学大学院 基礎工学研究科)
●光電変換プロジェクト 次世代の太陽電池の研究を分子レベルでの設計から行っています。	松尾 豊 (名古屋大学 未来社会創造機構 マテリアルイノベーション研究所)
●xDiversity(クロス・ダイバーシティ)プロジェクト AI技術による個人最適化技術と空間視聴触覚技術の統合を通して、人機一体による身体的・能力的困難の超克を目指します。	落合 陽一 (筑波大学 図書館情報メディア系)
●二次元物質プロジェクト 金属イオンと有機分子からなる二次元物質「配位ナノシート」をつくり、そのユニークな特性を評価しています。さらに、配位ナノシートを用いた電子デバイスやエネルギーデバイスの開発を行っています。	西原 寛 (東京理科大学 研究推進機構 総合研究院)
●潜在情報プロジェクト 潜在的(無意識的)な身体動作や神経応答、あるいは認知的過程などを計測する技術や方法を活用しながら、ヒトと機械、ヒトとヒトの協働に向けた研究を行っています。	渡邊 克巳 (早稲田大学 理工学術院)
●Cyber Living Lab 身体性メディアプロジェクト 小型・一体型触覚伝送モジュールを開発し、触覚をもつ身体的経験の記録、伝送、再生に基づく製品やサービスの早期創出を推進します。	南澤 孝太 (慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科)
●SFC Lab サイエンスコミュニケータープロジェクト 科学コミュニケーションのあり方と、その中心となる科学コミュニケーターの役割を再設計することを目指します。	村井 純 (慶應義塾大学 環境情報学部)
●知的やわらかものづくり革命プロジェクト 材料と加工がデジタル製造に直結するコンビニエンス・ファクトリー概念の実現に向け、「マテリアル&プロセスイノベーション」研究を進めています。	古川 英光 (山形大学 ソフト&ウェットマター工学研究室)
●知能機械の生活空間モデリングプロジェクト ロボットが自動学習する機能を研究し、学習した環境の知識を基に、状況に応じて自律的に動作生成可能なロボットの実現を目指しています。	持丸 正明 (産業技術総合研究所 人間拡張研究センター)
●コミュニケーション・サイエンスプロジェクト 「コミュニケーション」を支える心と脳のメカニズムについて研究を進めています。	田中 章浩 (東京女子大学 現代教養学部)、森勢 将雅 (明治大学 総合数理学部)
●アンドロイド ALTER を用いた模倣から自己の生成プロジェクト 人間とヒューマノイド、あるいはヒューマノイド同士の模倣などのコミュニケーションを通して、ヒューマノイドが自己を生成するための方法論について研究を行います。	池上 高志 (東京大学大学院 総合文化研究科)
●ミトコンドリア生合成プロジェクト 構造生物学のさまざまな手法を用いて、ダイナミックに動くミトコンドリアの構造と機能ネットワークの全貌とその制御機能の解明をめざします。	遠藤 斗志也 (京都産業大学 生命科学部)

2020年4月現在

研究プロジェクトの詳細については、HPをご覧ください。

[研究プロジェクトについて] <https://www.miraikan.jst.go.jp/research/facilities/>

アプリ／電子書籍

館内の展示ガイドとしてだけでなく、日常生活のなかでも使えるアプリや、研究機関から提供された科学データにアクセスできる電子書籍を無料で提供しています。未来館の外でも展示への理解を深めることができます。

■【アプリ】「Miraikanノート」

「問い」を見つけて、考えて、行動する。未来館が提案する「未来をつくる思考法」を体験できるスマートフォンアプリです。「問い」をきっかけに8つのコースで展示を巡る「クエスト」や、すべての展示のみどころを紹介する音声ガイドは4カ国語に対応。「未来をつくる思考法」を日常で実践できるノート機能も搭載しています。

※音声ガイド：日本語、英語、中国語、韓国語

公開日：2016年4月19日／価格：無料／公開元：App Store およびGoogle Play
／対応機種：iOS 8以上、Android 4.4.0以上／クリエイティブディレクション：
PARTY／発行者：日本科学未来館



■【電子書籍】「ジオ・スコープ 地球を探る」

地球環境についてのさまざまなデータやシミュレーションにアクセスできる、未来館の常設展示「ジオ・スコープ」の電子書籍版です。タッチパネルによる直感的な操作で新たな地球の姿をさぐる快適な操作感をiPadでもお楽しみいただけます。日射量の季節変化／アジサシの移動／ミツバチの世界地図 など全36コンテンツを収録。

公開日：2016年2月29日／価格：無料／公開元：iBooks Store／推奨端末：iPad Pro、iPad Air以降、iPad mini3以上／発行者：日本科学未来館



■【アプリ】「地球マテリアルブック デザイン×科学のダイアログ」

科学者とデザイナーの対話から生まれた未来館初の電子書籍。2010年に未来館で開催された「デザイン×科学 地球マテリアル会議」の内容をもとに、データやビジュアル満載にまとめた本書は、科学解説、デザイン提案、対話記録と多角的な構成。「金属」「プラスチック」「木」の3つのマテリアルを紹介しながら、地球スケールの「大きな時間」のモノづくりを提案します。インタラクティブなiPadアプリ版と、Webや紙本でも楽しめるBCCKS版の2つのバージョンがあります。

公開日：2011年7月31日／価格：無料／公開元：App Store／企画・制作：日本科学未来館、東京藝術大学美術学部デザイン科／発行者：日本科学未来館



過去に開催した主な企画展（1）

先端科学技術がわたしたちにもたらす変化や新しい世界像に焦点をあて、多くの外部組織と連携しながら、さまざまな表現手法やコミュニケーション手法を用いた企画展を開催しています。



ロボット・ミーム展
2001/12/1～2002/2/11



サウンドバム プロジェクト展
2002/10/2～10/21



時間旅行展
2003/3/19～6/30



疾走するファイバー展
2004/6/30～8/31



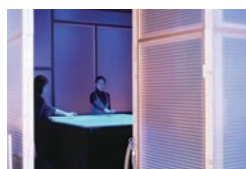
「F.C.R.B.スタジアムプロジェクト」展
2005/4/23～8/15



恋愛物語展
2005/4/23～8/15



サイエンス・トンネル
2005/9/16～11/17



サイエンス+フィクション展
2005/12/10～2006/2/27



脳！
2006/3/18～5/31



「マンモスからの警告」展
2006/7/1～9/3



65億人のサバイバル
2006/10/29～2007/2/5



サイエンスニュース! アジア展
2007/6/2～9/2



地下展UNDERGROUND
2007/9/22～2008/1/28



エイリアン展
2008/3/20～6/16



世界最大の翼竜展
2008/6/28～8/31



お化け屋敷で科学する！
2009/4/22～6/22



‘おいしく、食べる’の科学展
2009/11/21～2010/3/22



きみのみらい・みらいのきみ
2010/3/20～5/10



お化け屋敷で科学する！2
2010/3/10～5/31



ドラえものの科学みらい展
2010/6/12～9/27



テオ・ヤンセン展
2010/12/9～2011/2/14



メイキング・オブ・東京スカイツリー®
2011/6/11～2011/10/2



ウメサオタダ展
2011/12/21～2012/2/20



世界の終わりのものがたり
2012/3/10～2012/6/11



科学で体験するマンガ展
2012/7/7～2012/10/15

2020年4月現在

過去に開催した主な企画展（2）

先端科学技術がわたしたちにもたらす変化や新しい世界像に焦点をあて、多くの外部組織と連携しながら、さまざまな表現手法やコミュニケーション手法を用いた企画展を開催しています。



波瀾万丈!おかね道
2013/3/9～2013/6/24



サンダーバード博
2013/7/10～2013/9/23



THE 世界一展
2013/12/7～2014/5/6



トイレ? 行ットイレ!
2014/7/2～2014/10/5



チームラボ 踊る!アート展と、
学ぶ!未来の遊園地
2014/11/29～2015/5/10



ポケモン研究所
2015/7/8～2015/10/12



GAME ON
2016/3/2～2016/5/30



The NINJA
-忍者ってナンジャ!?-
2016/7/2～2016/10/10



ディズニー・アート展
いのちを吹き込む魔法
2017/4/8～2017/9/24



MOVE 生きものになれる展
-動く図鑑の世界にとびこもう! -
2017/11/29～2018/4/8



名探偵コナン 科学捜査展
～真実への推理(アブダクション)～
2018/4/18～2018/7/8



デザインあ展 in TOKYO
2018/7/19～2018/10/18



「工事中!」～立ち入り禁止!?
重機の現場～
2019/2/8～2019/5/19



マンモス展
-その「生命」は蘇るのか-
2019/6/7～2019/11/4

過去に開催した主な企画展実績

企画展名	開催組織	開催期間	日数	来場者数
テオ・ヤンセン展 ～ 生命の創造 ～	主催：日本科学未来館、フジテレビジョン	2010/12/ 9～2011/2/14	56	46,546
メイキング・オブ・東京スカイツリー® ～ようこそ、天空の建設現場へ～	主催：日本科学未来館、NHKエンタープライズ	2011/6/11～2011/10/2	104	83,554
ウメサオタダオ展 —未来を探検する知の道具—	主催：日本科学未来館、国立民俗学博物館	2011/12/ 21～2012/2/20	51	20,311
世界の終わりのものがたり ～もはや逃れられない73の問い	主催：日本科学未来館	2012/3/ 10～2012/6/11	84	74,777
科学で体験するマンガ展 ～時を超える夢のヒーロー～	主催：日本科学未来館、「科学で体験するマンガ展」製作委員会(ADK、小学館、ShoPro、ローソンHMVエンタテイメント)	2012/7/ 7～2012/10/15	93	96,547
波瀾万丈！おかね道 —あなたをうつし出す10の実験	主催：日本科学未来館	2013/3/ 9～2013/6/24	96	91,586
サンダーバード博 ～世紀の特撮が描くボクらの未来～	主催：フジテレビジョン、東映、東北新社、博報堂、博報堂DYメディアパートナーズ、日本科学未来館	2013/7/10～2013/9/23	72	128,308
トイレ？ 行ットイレ！ ～ボクらのうんちと地球のみらい	主催：日本科学未来館、フジテレビジョン	2014/7/ 2～2014/10/5	91	235,063
チームラボ 踊る！アート展と、 学ぶ！未来の遊園地	主催：日本科学未来館、チームラボ、日本テレビ放送網、BS日テレ	2014/11/ 29～2015/5/10	137	465,995
ポケモン研究所 ～キミにもできる！新たな発見～	主催：日本科学未来館、読売新聞社	2015/7/ 8～2015/10/12	91	197,007
GAME ON ～ゲームってなんでおもしろい？～	主催：日本科学未来館、フジテレビジョン、角川アスキー総合研究所	2016/3/ 2～2016/5/30	81	167,744
The NINJA -忍者ってナンジャ!?-	主催：日本科学未来館、朝日新聞社、フジテレビジョン	2016/7/2～2016/10/10	94	159,365
ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法	主催：日本科学未来館、日本テレビ放送網、読売新聞社、WOWOW	2017/4/ 8～2017/9/24	153	473,903
MOVE 生きものになれる展 -動く図鑑の世界にとびこもう！-	主催：日本科学未来館、講談社、電通、読売新聞社、NHK エンタープライズ、電通ライブ、ベクトル	2017/11/ 29～2018/4/8	113	198,309
名探偵コナン 科学捜査展～真実への推理(アブダクション)～	主催：日本科学未来館、「名探偵コナン 科学捜査展」製作委員会	2018/4/ 18～2018/7/8	72	187,804
デザインあ展 in TOKYO	主催：日本科学未来館、NHK、NHKエデュケーショナル、NHKプロモーション	2018/7/19～2018/10/18	85	456,981
「工事中！」～立ち入り禁止！？重機の現場～	主催：日本科学未来館、読売新聞社、フジテレビジョン、BS日テレ	2019/2/8/～2019/5/19	90	148,223
マンモス展 -その『生命』は蘇るのか-	主催：日本科学未来館、フジテレビジョン、読売新聞社	2019/6/7～2019/11/4	136	272,254

2020年4月現在

展示物の貸出

■巡回展・展示物の貸出

これまでに開催してきたオリジナル企画展を、科学館などさまざまな施設に貸し出しています。

●「時間旅行」展

—TIME! TIME! TIME!

科学的視点による多様な「時間」の世界を「旅」していくというコンセプトに基づいた展示です。

対象年齢：小学校低学年～大人
会場面積：～600㎡ ※応相談



●「ビューティフル・ライス

～1000年おいしく食べられますように」
数千年にわたって続いてきた米作りを科学の視点で読み解きながら、これからの1000年も「おいしく食べる」ためのアイデアを探る展示です。

対象年齢：小学校低学年～大人
会場面積：100～200㎡ ※応相談



大型映像の貸出

■大型映像の制作・配給

日本科学未来館では研究機関・映像制作会社など外部機関の協力を得て、オリジナルの大型映像作品を制作しており、国内外の多くの科学館等にて上映されています。

●「FURUSATO

—宇宙からみた世界遺産—

(2010年/37分)

配給：株式会社TBSスパークル



©日本科学未来館/TBSビジョン

●「9次元からきた男」

(2016年/30分)

配給：株式会社五藤光学研究所
コニカミノルタプラネタリウム株式会社



©Miraikan

詳しくは、下記までお問い合わせください。
日本科学未来館 巡回展担当 03-3570-9206

オフィシャルパートナー

オフィシャルパートナーとは、日本科学未来館の理念に賛同し、活動を支援していただいている企業です。科学技術と社会とのコミュニケーションの活性化に資する活動に、日本科学未来館とともに取り組み、発信・展開しています。

■オフィシャル パートナー

RICOH
imagine. change.

株式会社リコー

AsahiKASEI

旭化成株式会社

花王株式会社

2020年4月現在（五十音順）

友の会

未来館の友の会には、深く科学にふれながら未来館の活動を一緒につくりあげる「クラブMiraikan」と、1年間何度でも常設展に無料で入れる「年間パスポート」があります。

■年会費

クラブMiraikan		年間パスポート	
個人	ファミリー	大人	18歳以下
5,240円	10,480円	1,250円	410円
-	4名様まで有効。5名以上は1名につき2,100円追加	(継続 1,050円)	(継続 310円)

■会員特典

特典	クラブMiraikan	年間パスポート
①常設展の無料入場	○	○
②企画展のへのご招待	○	-
③会員向けイベントへの参加	○	-
④館内カフェや館内ショップ、駐車場の割引など	○	-

詳しくは、下記までお問い合わせください。
日本科学未来館 友の会担当 Tel: 03-3570-9151(代表)

ボランティア

展示解説、実験教室やイベントの運営支援など、ボランティアがそれぞれの持つ専門性をいかして活躍しています。

ボランティアには2つの活動形態があり、多様な活動を展開しています。

活動形態	レギュラーボランティア	サポートボランティア
活動頻度	年間12回以上かつ年間活動時間が72時間以上	年間12回未満または年間活動時間が72時間未満
活動内容	展示解説、来館者対応等	レギュラーボランティアに準じる
条件	高校生以上であり、未来館での活動に意欲と熱意をもって積極的に活動できる方	レギュラーボランティアに準じる

参加申込みなど詳しくは、HPをご覧ください。
<https://www.miraikan.jst.go.jp/aboutus/volunteer/>

利用案内

■開館時間

10:00～17:00（入館券の販売は16:30まで）

■休館日

火曜日（火曜が祝日の場合は開館）、年末年始（12月28日～1月1日）

※施設保守のため臨時で休館日を設ける場合があります

※春・夏・冬休み期間等は、火曜日も開館する場合があります

■入館料

大人 630円／18歳以下 210円

団体(8名以上) 大人 500円／18歳以下 160円

※6歳以下の未就学児は無料

※土曜日は一般・団体とも18歳以下は無料(企画展等を除く)

※障害者手帳持参者は本人および付き添いの方お一人まで無料

※企画展等は別料金場合があります

■館内設備

●駐車場

車175台(1時間440円、当日1日最大1,650円)

バス20台(来館中3,150円、事前予約なし)

●来館者用トイレ

1階 2カ所 / 3階 2カ所 / 5階 2カ所 / 6階 1カ所 / 7階 1カ所

※各階に障害者用トイレがあり、1階にはオストメイト対応トイレがあります

※1,3,5,7階のトイレには、オムツ替え台(大人サイズ)があります

●ベビーカー、授乳室

ベビーカーの貸し出しをしています

5階カフェの奥に授乳室があります

●バリアフリー

車いすの貸し出しをしています

車いす利用者専用駐車スペースが、地下駐車場に4台分あります

筆談器を、チケットブース、3階総合案内、ミュージアムショップに用意しています

知的障害の生徒向けに、展示見学をサポートするタブレット「ウェルカム!ナビ」を貸し出ししています

盲導犬、介助犬、聴導犬と一緒にご入館いただけます

AED(自動体外式除細動器)を、1階エントランス・通用口、3・5階エレベーターホール、7階ドームシアターに備えています

●救護室

看護師が常駐しています

●ロッカー

1階 コインロッカー 128台(100円:使用後に返金されます)

●飲食場所

5階カフェ、7階展望ラウンジにて飲食が可能です

7階ドリンクコーナー(お食事はできません)

1階多目的ルームの隣と、7階ドリンクコーナーに、冷水器があります

1階多目的ルームは、団体のお客様の昼食場所として使用できます(要事前予約)

■その他

●カメラ撮影

一部の展示物を除き、個人で楽しめる範囲内での撮影は可能です(※商業目的、複製、放映を目的とした撮影は、事前に許可が必要です)

●団体受付

団体予約、見学の下見、資料送付のお問い合わせはこちらへ Tel.03-3570-9188(開館日の10:00～17:00受付)

ショップ・カフェ・展望ラウンジ

日本科学未来館には、1階にミュージアムショップ、5階にカフェ、7階に展望ラウンジがあります。

■ミュージアムショップ（1階）



未来館のオリジナルグッズ、実験キット、書籍のほか、大人から子どもまで楽しめる科学関連グッズを多数取り揃えています。

営業時間：10:00～18:00
休業日：火曜日 ※休館日に準じる

■カフェ（5階）



好奇心をそそるユニークなインテリアの中で、軽食を楽しむカフェ。

開放日時／営業時間：10:00～17:00（開館時間と同じ）
休業日：火曜日 ※休館日に準じる

■展望ラウンジ／キッチン（7階）



お台場周辺から東京タワーまで見渡せる休憩スペース。セルフサービス形式のレストランも併設。

開放日時／営業時間：10:00～17:00（開館時間と同じ）
休業日：火曜日 ※休館日に準じる

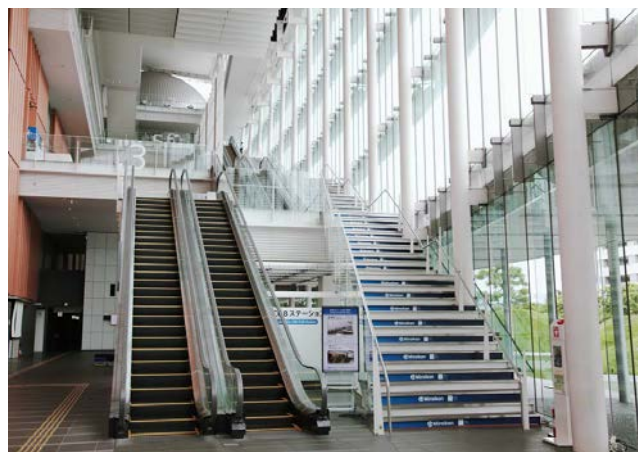
※営業時間等は、時期により変更する場合がございます。

設計と特徴

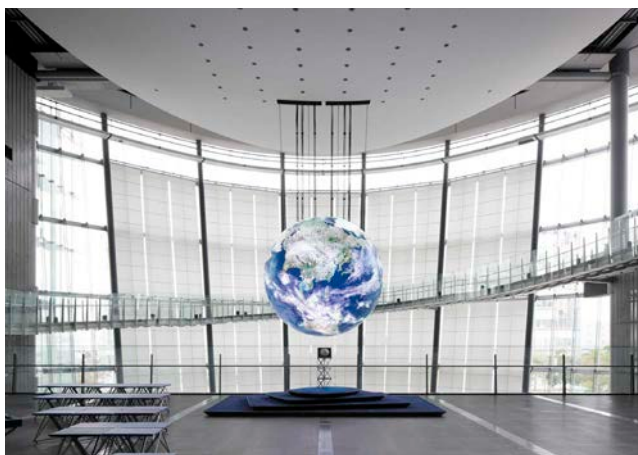
科学技術と人、人と人との交流の場をつくる、という建築コンセプトのもとに設計され、デザインや技術面においてさまざまな工夫がなされています。



開かれた施設を象徴するガラスの外装
直射日光の影響が少ない東～北面は透明強化ガラス(写真正面)、夕陽が当たる西面は半透明で断熱性の高いガラスが主に用いられ、透明感ある外観を作り出しています。



ダイナミックなスペース
エントランス空間やシンボルゾーンは自然光が溢れる吹き抜けの空間。エントランスから6階まで、各階はエスカレーターと連続階段で自然に繋がっています。



フレキシブルな展示空間
展示空間は、柱間隔が30mスパンの壮大なスペースです。正面東側は1階から6階までの吹き抜けで、3階から5階までをスロープでつないでいます。



スルーホール
建物を縦に貫くように挿入された10本の塔。屋上の太陽光追尾装置から光を内部に取り入れる「光の塔」、新鮮な空気の供給と排気を行う「風の塔」があります。

建築・設備概要

■ 建築概要

施設名	日本科学未来館
所在地	〒135-0064 東京都江東区青海2丁目3番6号
設計監理	日建設計・久米設計 設計共同企業体
設計協力	ランドスケープ: ジョージ・ハーグレイブス(基本設計のみ) / サイン: 廣村デザイン事務所 / 照明: LPA
施工期間	1999年12月~2001年3月
地域地区	防火地域、準工業地域
建ぺい率	46.51%(基準60%)
容積率	177.71%(基準200%)
道路幅員	西40m、北20m
面積	敷地面積: 19,636.65㎡ 建築面積: 9,133.59㎡ 延床面積: 40,744.03㎡[地下駐車場含む]
駐車場	面積: 5,737.84㎡ / 駐車台数: 175台(身障者用2台含む)
高さ	軒高: 42m / 最高高: 45m / 基準階高: 4.5m / 天井高: 8.0m(基準展示室)、3.0m(研究室) エントランス吹抜高: 25m(一部39m) / 展示スペース基準天井高: 8m(梁下部6m)
寸法	主なスパン: 30m×6m
階数	地下: 2階 / 地上: 8階 / 塔屋: 1階
構造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
杭・基礎	回転圧入式鋼管杭・無排土工法

■ 設備概要

空調設備	空調方式: 単一ダクト方式、単一ダクト+FCU方式、空冷パッケージ方式 熱源: 地域冷暖房
衛生設備	給水: 圧力給水方式(上水・中水) 給湯: 中央方式(地域冷暖房)、個別方式併用 排水: 一般汚水・雑排水系統、実験排水系統
電気設備	受電方式: 22kV 50Hz 3回線 SNW方式 設備容量: 2000kVA×3台 契約電力: 1700kw 予備電源: ガスタービン発電機 6.6kV 50Hz 1250kVA
防災設備	直流電源設備、自火報・防排煙・ガス漏れ警報設備、非常放送設備、避雷設備、緊急救助用スペース照明設備 / 消火スプリンクラー設備(閉鎖型・放水型・予作動式)、泡消火設備、窒素ガス消火設備 / 排煙: 自然排煙、機械排煙
その他	ゴミ処理設備、地域冷暖房受け入れ設備
昇降機	乗用エレベータ(展示ゾーン) 24人乗 105m/min 2台 乗用エレベータ(バックヤード・非常用) 17人乗 105m/min 2台 人荷用エレベータ(バックヤード・非常用) 17人乗 105m/min 2台 荷物用エレベータ(バックヤード) 耐荷重 6000kg 30m/min 1台 乗用エレベータ(駐車場) 11人乗 45m/min 1台 エスカレータ(導入ゾーン) 幅1200mm 9000人/時 30m/min 10台
荷捌室	搬入口 有効開口 W5,250mm×H4,000mm および W3,750mm×H4,000mm
室内温度・湿度	温度: 17℃~28℃、湿度: 40%~70%
警備体制	テレビモニタ: 全館に設置(駐車場等含む) 監視場所: 1階防災センター 警備員: 24時間常駐

アクセス

日本科学未来館への交通手段には新交通ゆりかもめ、東京臨海高速鉄道りんかい線、無料巡回バス、路線バス、車などいろいろな方法があります。

■電車

- ・新交通ゆりかもめ(新橋駅～豊洲駅)
「東京国際クルーズターミナル駅」下車、徒歩約5分
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分
- ・東京臨海高速鉄道りんかい線(新木場駅～大崎駅)
「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分

■無料巡回バス「東京ベイシャトル」

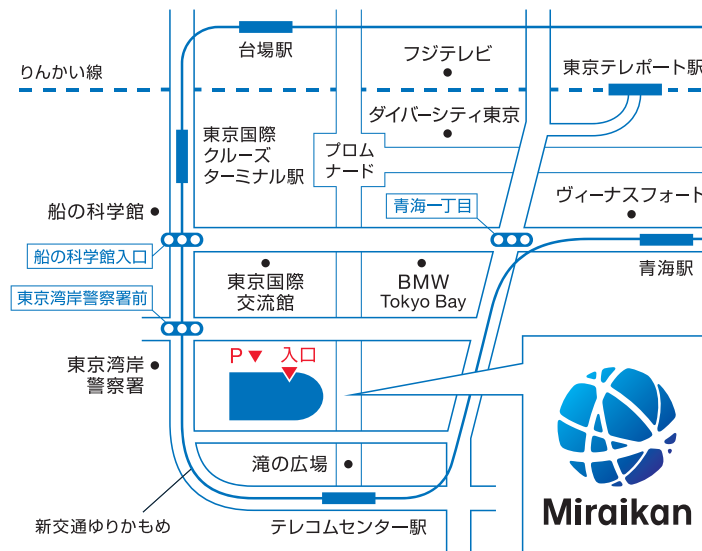
- 「日本科学未来館」下車すぐ
- 運行時間：11:30から19:30まで、約20分間隔で運行

■路線バス

- ・「品川駅南口」より 都バス [波01出入] 「日本科学未来館前」下車
※運行本数が少ないため、事前に時刻表をご確認ください。
- ・「大井町駅」より 京浜急行バス [井30] 「テレコムセンター駅前」下車
- ・「大森駅」より 京浜急行バス [森30] [森40] 「テレコムセンター駅前」下車
- ・「門前仲町駅」より 都バス [海01] 「日本科学未来館前」下車
- ・「錦糸町駅」より 都バス [急行05] 「日本科学未来館」下車(土日祝のみ運行)
- ・「森下駅」より 都バス [急行06] 「日本科学未来館」下車(土日祝のみ運行)

■車

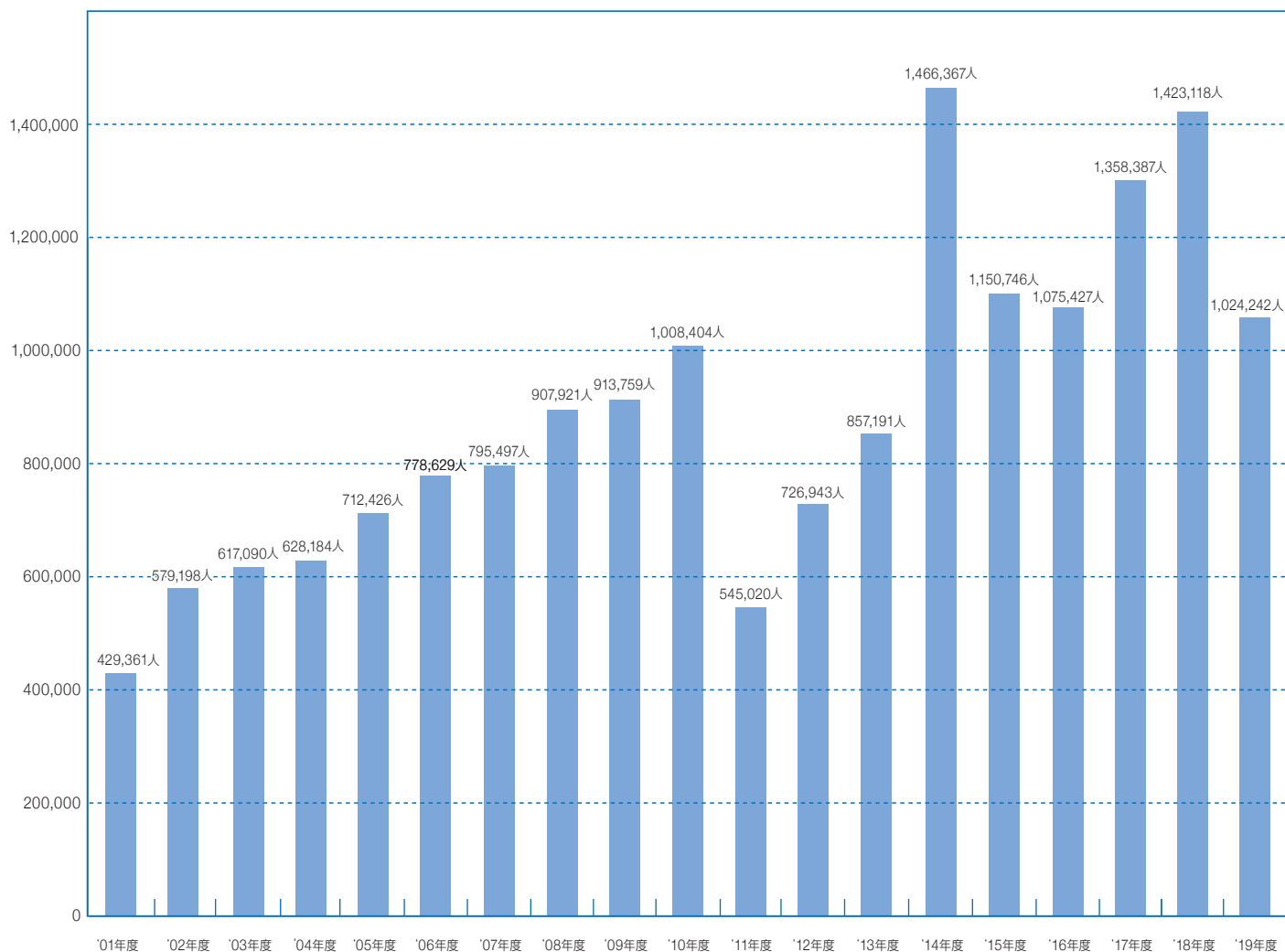
- 〈首都高速から〉
- ・都心方面からは、首都高速11号台場線でレインボーブリッジを渡り、「台場出口」で降りて約5分
- ・羽田・横浜方面からは、首都高速湾岸線で東京港トンネルを通り抜け、「臨海副都心出口」で降りて約4分
- ・千葉方面からは、首都高速湾岸線、「有明出口」で降りて約7分
- 〈一般道から〉
- ・都心方面からは、レインボーブリッジ下層の一般道を渡って、レインボーブリッジ入口交差点より約4分



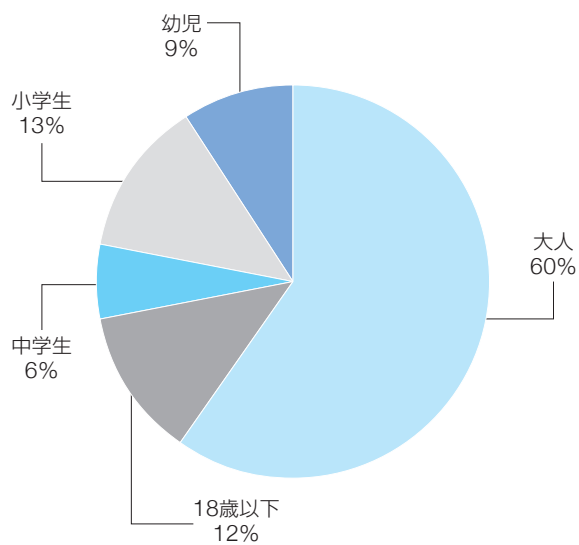
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2丁目3番6号 Tel.03-3570-9151(代)

来館者データ

来館者数推移



年代別内訳 (2019年度)



団体来館者における地域別内訳 (2019年度)

